

# アンケートにみる意識・ニーズ

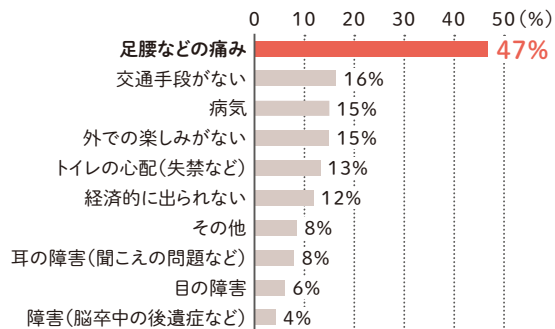
第8期計画策定の参考とするため、高齢者、要介護認定者、介護サービス事業所、介護職員にアンケート調査を実施しました。

## 外出を控える理由は「足腰の痛み」が約5割

47%の高齢者が外出を控える理由として、「足腰の痛み」を挙げています。

外出が継続できるよう、足腰の痛みの予防・緩和を図るための取組が必要です。

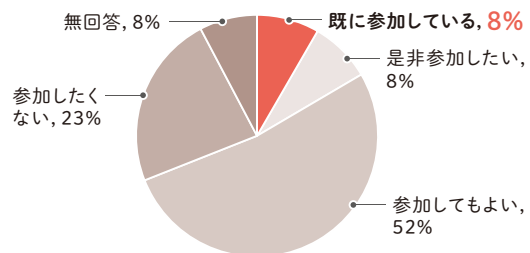
外出を控えている理由



## 地域づくりへの参加は約1割

「グループ活動による地域づくり」に対して、6割の高齢者が参加の意向を持っていますが、「既に参加している」と答えた高齢者は8%という少ない現状となっており、さらなる高齢者の地域活動への参加が求められます。

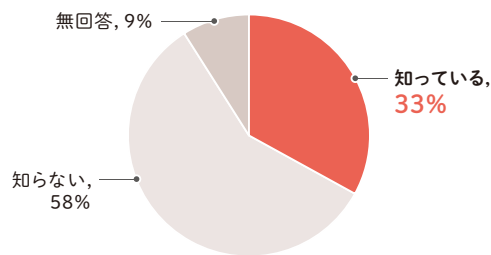
地域づくりへの参加意向



## 認知症の相談窓口を約6割が知らない

「認知症の相談窓口を知っている」は約3割と少ないため、相談先を多くの住民が知り、早期発見・早期対応につなげていく取組が必要です。

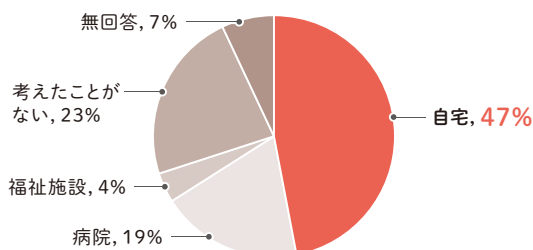
高齢者のうち、「認知症の相談窓口を知っている」の割合



## 「自宅で最期を迎えたい」が約5割

看取りに関して、自宅で最期を迎えたいと思っている人が約5割にのぼっており、在宅医療・介護のネットワークづくりを進めることが望まれます。

一般高齢者の「人生の最期を迎えたい場所」



## 介護人材確保・定着促進に効果があると思われる取組は、事業者と介護職員でギャップがある

介護人材の確保、定着促進に効果的な取組については、事業者と介護職員の認識に相違がみられるため、こうした認識のギャップを解消し、効果的な施策を検討・推進していく必要があります。

介護人材確保・定着促進に効果があると思われる取組（抜粋）

取組	効果があると思われる取組		
	事業者	職員	
<b>【確保】</b>			
事業者・職員双方で高いもの	賃金体系の見直しを行う	95%	92%
	職場体験や見学を実施する	95%	73%
	HPやSNSで事業所の個性をアピールする	64%	64%
意識のギャップがあるもの	地域の事業所間で職員確保に関する情報交換を行う	18%	68%
	一般大学・高校にも訪問して求人活動を行う	18%	59%

取組	効果があると思われる取組		
	事業者	職員	
<b>【定着促進】</b>			
事業者・職員双方で高いもの	賃金水準を相場や業務負担などからみて納得感のあるものとする	100%	86%
	勤務時間帯、時間数等の調整や部署異動など、職員の希望を反映できる制度を導入する	100%	86%
	非正規職員から正規職員への転換機会を設ける	86%	81%
	経験年数・職種別の体系的な研修・育成制度を整備する	77%	70%
意識のギャップがあるもの	「介護キャリア段位制度」を活用し、職員の実践的スキルの評価を行う	23%	64%
	子育ての場合でも安心して働ける環境（保育費補助や事業所内保育所の設置等）を整備する	36%	88%
	近隣の事業所の職員と交流や情報交換を行う機会を設ける	36%	64%